

受講番号 18059 学校名 横浜中学校 氏名 恒石 真理子

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 3年(半分) 生徒数 55 名
科目名 3年(半分) 単位数(授業時数) 3 時間 使用教科書名 New Horizon Book 3

クラスの様子・特徴

1年次より、少人数制(出席番号順に2分割)で行っている。特に3年生になってからは、受験に対する意識もだんだんと高まり、学習には前向きに取り組む生徒が多い。英語に対する苦手意識を持っている生徒や、意欲に欠ける生徒も若干いる。

問題の確定

英語を聞き取ることへの抵抗が強く、語彙力の弱さから聞き取ることがの大きな意味をとらえることが難しい。

予備調査

A 授業の観察

中間テスト後、3年1組において、5日間の授業観察を行った。単語テストや、音読練習に意欲的に取り組んでいる。ほとんど毎日、ペアでの活動や、教え合いをしているが、特に、簡単なスキット作りや、対話練習は好んで取り組んでいる。

B 生徒による授業評価

友達とペアで活動するのが楽しい。本文を読むのが好きである。英作文が苦手な、語順がわからない。もっと考える時間が必要である。リスニングが難しい。

C 学力データ

CRT分析結果より、「具体的な内容や、大切な部分を聞く」の領域が10点以上も下回り、会話や文章内容を理解することが苦手である。小問内容別に見ても、「放送による対話の質問」「文章の内容理解」などの通過率が非常に低いことがわかる。

リサーチ・クエスチョン

「要点をとらえて聞き取る力をつけるにはどのようにすればよいか」

仮説・実践・検証

仮説1

毎時間、語句・表現の小テストを行い、生徒の意識を高め、語彙力をつける。

実践1

教科書の内容に合わせて、語句・表現の小テストを行い、定期テストへつながる取り組みとして、励みとさせた。1ページ進むごとに単語、重要表現のテスト15問をずつ行った。15問中13問以上正解すると評価A、12問～7問正解すると評価B、6問以下は評価Cという評価を行った。

検証1

小テスト直前に、5分程度のテスト勉強時間ととった。10回のテストを行い、平均して18名中10名の生徒がA評価をとることができ、6名の生徒がB評価、2名の生徒がC評価をとった。定期テストへもつながることができたと思う。5分間のテスト勉強が緊張感をなくし、あまやかしくなった生徒もいたが、多くの生徒にとっては、授業に緊張感を持たせるという意味からも、効果的であった。

仮説2

教科書のListening Plusや音読練習を繰り返し行えば、聞いて理解することにつながるだろう。

実践2

教科書の語句や、本文のディクテーションを行う。教科書のLet's Read 1の[A Mother's Lullaby]を1ページずつ10問の穴埋めテストを行った。途中、少し、量が多いと感じ、1ページを半分にし、回数を増やすことにして、再度同じ単元のディクテーションを行った。

検証2

内容を理解している読み物教材を選び、10問の穴埋め式ディクテーションを行った。教科書の音読を繰り返し行っていることから、本文を暗記する生徒も少なくないので、すぐに答えを書いてしまう。CDや教師の音声聞いて書き取るという観点からは、教科書以外の内容も取り入れたかったが、時間確保が難しかった。生徒は、やはり教師の音声で安心できるようだが、放送による聞き取りを更に、増やす必要がある。

仮説3

ペアで練習したり、最初に聞き取るポイントを示しておく聞き取りやすくなるだろう。

実践3

教科書の対話文やT、FやQAなどをペアで行う。本文の内容を確認し、読めない語句にはカナをつけ、全員が読めるように準備を行った。まず、自分自身で読めるまで練習し、わからないことは自分のペアの相手に聞くなどし、2人で発表できるまで練習時間を確保した。

検証3

2人ペアで、意欲的に音読練習や、教え合い、簡単なスキット作りができた。ワークシートを使い、大切な表現の練習した後、すこしずつ語句を変え、簡単なスキットを作った。音読練習も、スキットの発表もそれぞれのペア同士が競い合い発表する場面も多くみられ、生徒の楽しむ姿と意欲を感じることができた。

研究の成果

1年生から継続している音読練習により、読むことや暗記することについてはかなり上達していると思われる。初めて聞く内容や、日本語にない音への抵抗はあるものの、教科書の中での興味深い内容を選ぶことによって、大意をつかもうとする意欲が見られた。また、ペア活動を取り入れることによって、自分達だけでまづ取り組む姿勢が見られ、自ら学ぶ姿勢が身についたのではないと思う。

今後の授業改善の課題

英語の学習の基本である音読練習は継続し、ALTとの授業を最大限に利用したい。またCDや日本人の苦手な音も繰り返し聞き、発音させることを継続したい。生徒の興味・関心を引くような題材選びや、ビデオ鑑賞も有効だと感じている。しかし、その時間確保や、習熟度別のクラス編制の必要性が出てくるのではないかと感じている。

リサーチについての問合せ先:

職場電話 088-341-2215 電子メール

yokohama-j@kochinet.ed.jp